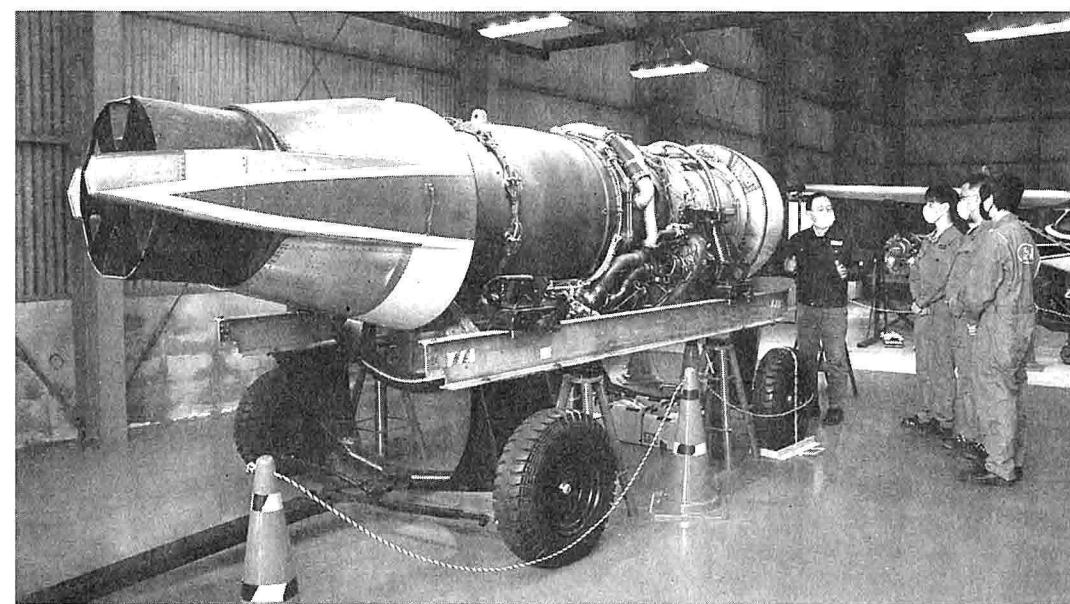
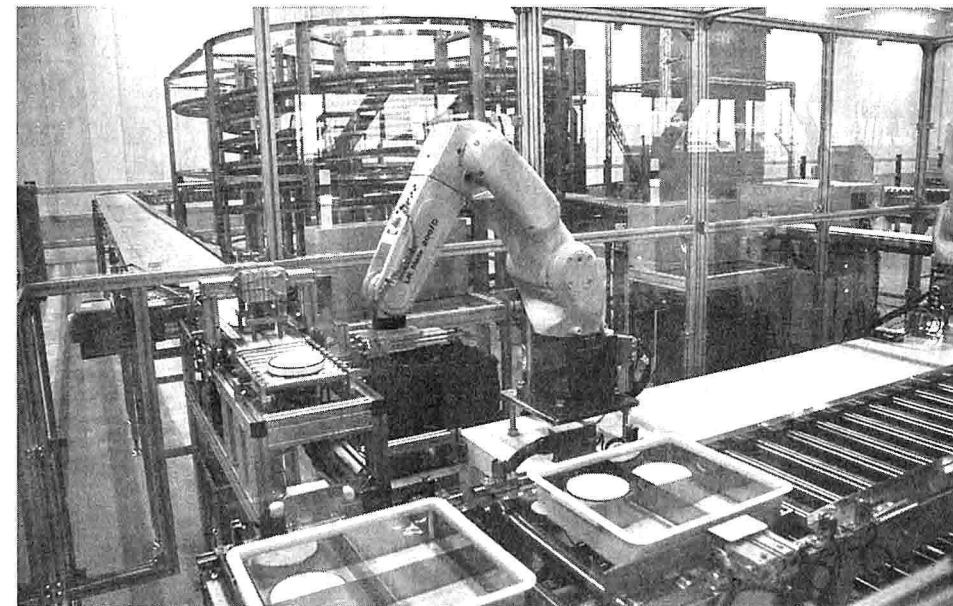


三重県



パーソナックの「アビエーションラボ」で入社前研修を受けるIHI瑞穂工場の新入社員



三鈴工機東京事業所内にオープンした「イノベーション・ラボ」

「三重どこわか国体・オフィシャルズポンサー」として協賛する。また伊藤澄夫社長も個人で同県に対し多額の寄付を行い、組綏褒章を受章した。自動車用プレス部品加工や順送り金型を手がける伊藤製作所(三重県四日市市)は、「三重どこわか大会」にオフィシャルズポンサーとして協賛する。また伊藤澄夫社長も個人で同県に対し多額の寄付を行い、組綏褒章を受章した。

自動車、建設機械、医療用ベッドなどの部品加工を手がけるダイソウ工業(津市)は2012年12月、省力化機器メーカーの東海精機(三重県菰野町)を買収し、東海精機の工場自動化(F.A.)関連事業ことが狙い。

東日本のユーザーに食品機械メーカーの

コロナ後の成長戦略を実行

三重県は2021年度当初予算案に新型コロナ感染症の影響による中小企業への資金繰り支援として75億円を盛り込んだ。中小企業の事業継続に向けて、緊急対応で8億円を計上。地域経済の再生と雇用維持に向け、中小企業支援を積極的に進めている。

また先端技術への取り組みを推進させるため、県内企業のデジタル変革(DX)に向けた予算を計上。働き方改革でワーケーションを拡大させる体制を構築するための予算も計上した。今秋に開催される「三重どこわか国体・三重どこわか大会」などの関連予算も含め、過去最大規模となつた。

DXや働き方改革を推進

三重県は、新型コロナウイルス感染症の拡大で苦しい状況が続く企業を支援する体制を拡充している。感染防止と経済活動の両立という過去に例のない難しいかじ取りを迫られる中、鈴木英敬知事はコロナ禍を乗り切り、コロナ後の社会を見据えた成長戦略を実行していく考えだ。企業の事業継続に向けたさらなる金融支援の実施や、新しい生活様式に対応するためのデジタル活用およびビジネスイノベーションの支援に期待がかかる。

活発な産学官連携

同県と「ニカミフルタ」は2月、県庁職員や県内自治体職員の業務における生産性向上を目的とした連携協定を締結した。「ニカミフルタ」がデジタル技術を生産に活用した取り組みなどのノウハウをアドバイスすることで、県民サービスの向上に繋げていく。

三重県水産研究所、鳥羽市、三重大学、鳥羽市(三重県四日市市)と共同で、四日市市地場産業である萬古焼の土鍋製造のポイントとなる施釉や成形用いた水産業のDXの推進で連携協定を結んだ。

同県内の漁場や養殖現場でセンサーや通信機能などを搭載した「スマートブイ」、飛行ロボット(ドロー)などを用いた通信(G)やIOT(モノのインターネット)など

D.I.総合研究所(埼玉県ふじみ野市)との間で第5世代通信(5G)やIOT(モノのインターネット)など

を用いた水産業のDX

の推進で連携協定を結んだ。

同県内の漁場や養殖

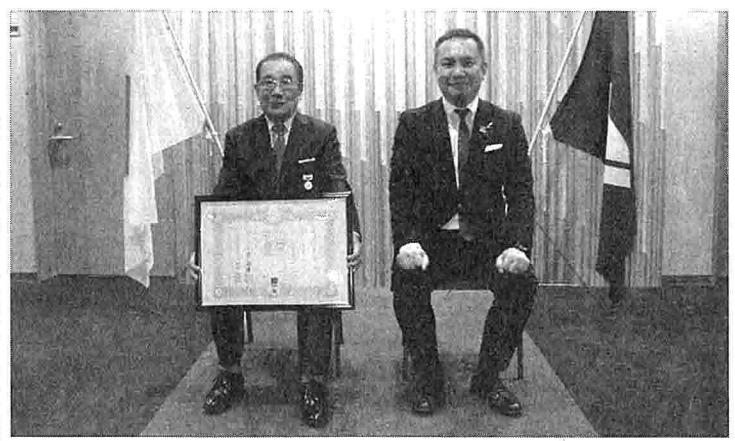
現場でセンサーや通信

機能などを搭載した

者からのオンラインを

行口ボット(ドロー)対応している。

広がる県内企業の社会貢献



今月20日の伝達式で鈴木英敬三重県知事から紹綏褒章を授与された伊藤製作所の伊藤澄夫社長(左)

コロナ禍、三重県内では社会に貢献する企業が増えている。不足するマスクや消毒液を提供するなど、本業を通じた貢献活動も目立つ。一方でM&A(合併・買収)など事業拡大の動きもあり、先行きに持ち直しの動きが感じられる。半導体やディスプレード・薬液や機器保守サービスを手がけるジャパンマテリアルは3月、三重県病院協会を通じ新型コロナウイルス感染症対応に尽力している同県内の医療従事者約7000人にQUOカードを寄付。4月中の配布完了を目指しており、支援額は1人当たり1万5000円相当。総額で約1億円分に及ぶ。

自動車用プレス部品加工や順送り金型を手がける伊藤製作所(三重県四日市市)は、「三重どこわか国体・オフィシャルズポンサー」として協賛する。また伊藤澄夫社長も個人で同県に対し多額の寄付を行い、組綏褒章を受章した。

自動車用プレス部品加工や順送り金型を手がける伊藤製作所(三重県四日市市)は、「三重どこわか大会」にオフィシャルズポンサーとして協賛する。また伊藤澄夫社長も個人で同県に対し多額の寄付を行い、組綏褒章を受章した。

自動車、建設機械、医療用ベッドなどの部品加工を手がけるダイソウ工業(津市)は2012年12月、省力化機器メーカーの東海精機(三重県菰野町)を買収し、東海精機の工場自動化(F.A.)関連事業これが狙い。

東日本のユーザーに食品機械メーカーの

紺綬褒章の伝達式

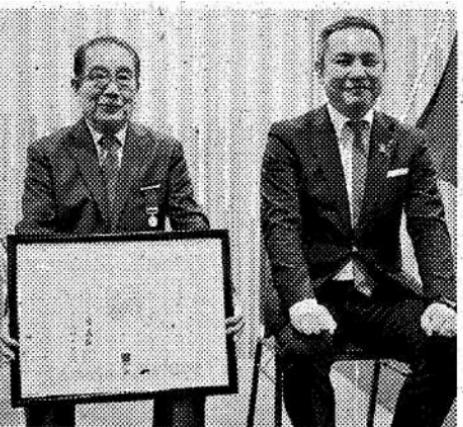
伊藤澄夫・伊藤製作所社長に

**【三重】伊
藤製作所(本
社四日市市)
の伊藤澄夫社
長への紺綬褒
章の伝達式が**

を示してほしい。今後もバ
ックアップしていきたい」
と話していた。

伊藤製作所と伊藤社長は
昨年7月、寄付金500万
円と協賛金500万円の計
20日、三重県
庁で開かれた。今年秋開
かれる「三重
とこわか国体
・三重とこわ
か大会」への
寄付に対するもの。同国体
・大会の寄付による個人へ
の同褒章授与は初めて。
伝達式では、伝達者であ
る鈴木英敬三重県知事か
ら、伊藤社長に褒章が手渡
された。鈴木知事は「おめ
でとうございまます。改めて
感謝します」と祝辞を述べ
た。伊藤社長は「国体で若
い人たちが三重県の存在感

寄付した個人が対象とな
り、国から授与される。同
国体・大会関連では、これ
までに百五銀行、住友電装、
日本トランシスティの3社
が受章している。



紺綬褒章を受章した伊藤社長
(左)と鈴木知事